

1. 「いじめ」になるかどうか考えよう。

- ① Aさん、Bさん、Cさんが3人でBさんに頭突きした。
- ② AさんがBさんとケンカしていたので、Bさんの上履きを隠した。
- ③ AさんがBさんに「お前、背たけえな！」と言った。
- ④ Aさんがいじめっ子のBさんをこらしめようと思って、Bさんを無視した。

まとめ①：相手が _____ たら「いじめ」

まとめ②：「いじめ」は、 _____ になることもある。

_____ ものでも _____ 結果になることがある。

だから、「これくらいのこといいやん…」と思ってはダメ！

2. 休み時間のA君、B君、C君の会話を読んで、(1)～(5)の質問に答えよう。

- A「昨日の新アメリカプロレス面白かったね」
 B「見た見た、テレビでやってたやつでしょ？ 面白かったよね」
 A「あの、リアットが最高だったなー」
 A「あっ、Cも見た？」
 C「僕は見てないなあ」
 A「それはもったいないな。じゃあ俺が試しに見せてやるよ。C、敵役な」
 C「えー、リアットされる側！？」
 A「痛くないように、優しくするし、本気でやるわけじゃないからさ」
 C「……」
 B「C、とりあえず受けたらいいじゃん。Aは優しくするって言ってるし」
 C「……（本当は嫌だけど、いやだって言ったらAに嫌われちゃうかも）」
 A「なんだよ、せっかく見せてあげるって言ってるのに。見たくないのかよ、リアット」
 B「(A、もしかして本当に嫌がってる？ でもまあいっか。) …Cノリ悪いわー」
 C「(本当は嫌だけどここで断ったらまずそうだ) ……わかった。本気でやらんでよー。」
 A「おっ！ Cいいねー！！ くらえー！！ Aリアアーーーーット！！！」

(1) 【Cの立場に立って】 Cはどんな気持ちだった？

(2)【Aの立場に立って】 Aはどんな気持ちだった？

(3) Aはどうすればよかったんだろう？

(4)【Bの立場に立って】 Bはどうすればよかったんだろう？

(5) どうしたら、Cが「いやだよ」と言いやすくなるだろう？

まとめ①：イヤなことに対して、「いやだ」と言いやすい _____ をつくろう。

まとめ②：自分が _____ でも、ほかの人にとっては _____ なこともある。

まとめ③：みんな _____ 。だから大切なのは、_____ 。

いじめは、「された人」はもちろん、「した人」「見て見ぬふりをした人」にも大きな傷を残します。

皆さんは、自分と“全く違う”感じ方や考え方を持つ人の“心”を想像できているでしょうか。

「いじめ」を無くすために皆さんが明日からすぐにできること。

絶対に、相手の“心”を決めつけないで。考える。想像する。たずねる。伝える。

皆さんのこれからのがんばりを期待しています。

小学校いじめ予防授業2019・指導案

時刻	所要	大項目	中項目	小項目	備考(注意点)
14:00	3分	導入	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 氏名, 弁護士であること等 弁護士は, 交通事故, 刑事事件, 借金問題など様々な事件を扱うが総合すると「人権」を「護る」仕事。 	※時間を割き過ぎず, 端的に。
			趣旨説明	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」について考えるのが今日の授業のテーマであること みんなでワークシートを使いながら一緒に考えていきたいということ 	※学校の先生が事前に説明する場合もある。
14:03	3分	アイスブレイク	ミニクイズ・春夏秋冬	<ul style="list-style-type: none"> 春夏秋冬どれが一番好きか考えてもらう。 ひとつずつ挙手してもらう。一番多い回答はどれだったかを確認する。 他方, 一番嫌いな季節はどれかも考えてもらう。 こちらも挙手してもらう。一番多い回答はどれだったかを確認する。 	※子どもを指名して, いくつか理由を尋ねても構わない。ただ, あまり時間を取り過ぎないように注意する。
14:06	8分	「いじめ」とは何か。	これは「いじめ」に当たる??	<ul style="list-style-type: none"> 事前に, 恥ずかしがらず自分の思った方に手を挙げてほしいと説明。 ワークシートの説例を読み上げ, 10秒程度の短いシンキングタイムを取ったうえで, 「いじめだと思う」「いじめではないと思う」が挙手してもらう。 (時間に余裕があれば) 何人かに理由を尋ねてもよい。 	※理由を聞かれて答えられない子もいるだろうから, すっと出てこない子にはこだわり過ぎないようにしたい。
			法律上の定義	<p>いじめ防止対策推進法上は, 「児童等に対して, 当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって, 当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定義されている。</p>	
			まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 相手に嫌だと苦痛を感じさせてしまったらいじめにあたる可能性がある。 いじめは犯罪に該当することもある。小さないじめが大きな結果(不登校, 精神疾患, 自殺等)につながる場合もある。 だから絶対にしてはいけない。 ゆっくりめに時間を取り, ワークシートの空欄にキーワードを記入してもらう。 	「犯罪かどうかだけで切り分けてはいけない」ということを伝えたい。
14:14	1分	中間まとめ		<ul style="list-style-type: none"> 設問1のまとめをみんなで声に出して読んでみる。 	※退屈させない。眠らせない。
14:15	20分	ケースワーク	事例の紹介	<ul style="list-style-type: none"> 事例を読み上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※大きく話題転換するので, 再度, 子どもたちを集中させることが大事 ※ただ単に読み上げるだけではなく, 動画や小道具を用いておもしろく演出することも要検討 ※子どもに実演させるのも手だが, 人選が難しい。
			いじめられた側の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> Cの気持ちを想像してもらう。 1~2名程度に発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 本当は嫌なのに嫌だといえないことでいじめに発展する可能性があることを伝える。 ※班ごとに話し合いをしてもらって代表者に発表してもらう形でよい(以下同様)。
			いじめた側の気持ちと対策	<ul style="list-style-type: none"> Aの気持ちを想像してもらう。 1~2名程度に発表してもらう。 Aがとるべきだった行動を考えてもらう。 1~2名程度に発表してもらう。 	よかれと思ってしたことでも相手が嫌がっている可能性もあるということを伝える。
			傍観者の対策	<ul style="list-style-type: none"> Bがとるべきだった行動を考えてもらう。 1~2名程度に発表してもらう。 	気づいたときにCに問いかけたり, Aを止めたりすることが大切だということを伝える。
			いじめ抑止の関係性づくり	<ul style="list-style-type: none"> どうすればCがいやだといえる環境を作れるのかを考えてもらう。 1~2名程度に発表してもらう。 	
			まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 嫌なことに対してきちんと「イヤだ」といえるような関係をつくるのが大事。 自分が平気でも, ほかの人はとてもいやだということがありうる。 みんな違う。だから大切なのはイマジネーション。 ゆっくりめに時間を取り, ワークシートの空欄にキーワードを記入してもらう。 	
14:35	3分	大人へ向けて		<ul style="list-style-type: none"> 子ども達はどうしてもイマジネーションが不足してしまうことがある。 でも, 子どもは「大人の半人前」ではなく「子どもの一人前」。 失敗する権利が子どもにはある。 大人がすべきなのは, 子どもたちの「……」を見逃さないこと。 どんなに忙しくても, 子どもたちに問いかけてほしい。 	※「親子で学ぶ法規範意識育成授業」と銘打っている場合には, 親向けのコメントも残しておきたい。
14:38	5分	質疑応答			
14:43	2分	総まとめ			